

令和4年度 予算施策評価表

様式1

施策名	警察行政の推進(総括)			予算施策コード	ks01
担当部局名	警察本部	—	警務課	評価責任者	理事官 前田 正樹
				連絡先	5300

1 施策の内容

施策の目標	県民のニーズの把握と情報の提供、警察行政の透明性の確保、業務の効率化等、円滑な警察行政の推進
-------	------------------------------------------------

これまでの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民の代表者で構成される警察署協議会を、県下16警察署において概ね年3回開催するとともに、年1回の代表者会議を開催し、地域住民の意見・要望の把握に努めた。 ○県警ホームページに愛媛県警察の規程情報を掲載し、警察行政の透明化を図るとともに、警察行政に対する県民の理解と支持を得るよう努めた。 ○拾得物件の情報等をインターネットを利用して公表することにより、県民の利便性の向上を図った。 ○令和4年度は、新型コロナウイルスのまん延により活動が制限される中、音楽隊を自治体等の各種行事に52回(令和4年実績)派遣し、年間約17,000人の集客を図ったほか、無観客の演奏会の模様をYouTubeで配信するなどし、効果的な警察広報活動を推進した。 ○基幹業務サーバ等により各種照会34業務を運用するとともに、端末や回線速度を適切に維持し、業務の省力化・効率化を図った。
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	警察署協議会における住民からの提言の警察行政への反映件数			B	県警ホームページへの総アクセス件数					
選択理由	警察行政の推進に当たっては、治安課題を地域住民と共有するとともに住民の目線に立った警察活動が必要であるため、提言の反映件数を指標とした。			選択理由	ホームページを通じた警察活動に関する情報の発信状況等を示す指標であるため。					
算定方法	警察署協議会における提言の警察行政への反映件数			算定方法	県警ホームページへの総アクセス件数					
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	+

指標・事業費・人件費の推移												
区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	件(年度)		%	千件(年度)		%	千円					
2年度	計画無	35	-	11400	8457	74.2%	359,575		25,804	333,771	333,606	152,918
3年度	計画無	44	-	11400	6594	57.8%	353,738		28,368	325,370	329,434	143,990
4年度	計画無	42	-	11400	10830	95.0%	374,491		29,499	344,992	348,455	130,175

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	警察行政を円滑に推進するための内部管理経費であり、全件にわたる事務であることから、県が関与すべき必要性は高く、妥当性が認められる。						
高い									
成果指標A		説明	警察署協議会における提言を警察行政に直接的に反映させ、住民と警察が一体となって地域の課題を解決し地域の安全確保を図っているほか、住民の意見・要望を聴取し、そのニーズを把握することにより警察運営の参考としたものが認められる。警察活動に対する住民の理解と協力を求める場としての取組など、安定的に評価できるものもあり、今後も各警察署による積極的な情報発信や警察署協議会各委員による住民の意見の吸い上げ等により、数字に表し難い取組みはもとより、住民と一体となった警察活動の推進に成果が見込まれる。						
成果動向	順調・向上								
成果向上余地	成果向上が可能								
成果指標B		説明	令和4年度中の月平均アクセス件数は約90万件であり、昨年に比べ増加した。今後も、県民のニーズ把握に努め、より関心の高い有益な情報発信に努めるとともに、ホームページをより見やすく、情報検索を容易にする構成にするなど利便性の向上に努めることで、ある程度の成果向上が見込まれる。						
成果動向	順調・向上								
成果向上余地	成果向上が可能								
参考：構成事務事業の評価の平均値		成果動向	2.05	順調・向上		成果向上余地	1.55	成果向上が可能	

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

										予算施策名					ks01 警察行政の推進（総括）										
1	公安委員会費			指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	4その他							
	指標種類1	指標名称1		単位	計画	311	306	281		事業費計	1,484	1,579	1,086	1,143	評価	公安委員会に対する報告件数については社会情勢等により変動するものであり、公安委員会開催回数は規則により定められており適切に開催された。									
	成果	+	70-	公安委員会に対する積極的な報告件数	件	実績	266	242			221	国費													
						達成率	85.53%	79.08%			78.65%	その他													
						計画	32	32			32	県費	1,484	1,579					1,086	1,143					
	指標種類2	指標名称2		単位	計画	32	32	32				事業費計	496	414					565	見直し方向性	方向1	このまま継続			
	活動	+	70-	公安委員会開催回数	回	実績	31	32					31	国費									方向2		
						達成率	96.88%	100.00%					96.88%	その他									方向3		
						計画								県費					496		414	565			
	指標種類3	指標名称3		単位	計画									人役					0.6		0.6	0.6	公安委員会に対する報告件数については社会情勢等により変動するが、公安委員会に報告すべき案件は引き続き報告する。公安委員会開催回数は規則により定められているため規則に基づいて引き続き開催していく。		
実施期間	始期	終期	事業の概要																人件費		4,060	3,630			
			S29	-	警察管理運営の適正な推進を図るために国家公安委員会及び他の都道府県公安委員会と常に緊密な連絡を取るための経費及び毎月最低2回の定例会議、必要に応じて委員会の開催、警察運営上の諸問題の審議・協議の実施に要する経費																				

2	交際費			指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり
指標種類1	指標名称1		単位	計画	2	1	1		事業費計	102	102	102	99	評価	成果を定量的に計ることは困難な事業であるが、警察に深い関係の慶弔を代表して示すことは、当然の社会的な儀礼であり、必要な範囲で執行することは、今後の警察行政運営上、有効に作用し継続した警察活動にも寄与する。			
成果	+	70-	慶弔関係支出件数	件	実績	1	2	3	国費									
達成率	50.00%	200.00%	300.00%	その他														
計画	計画無	計画無	計画無	県費	102	102	102	99										
指標種類2	指標名称2		単位	計画	計画無	計画無	計画無		事業費計	2	3	5	見直し方向性	方向1	このまま継続			
活動		70-	各種会合の会費支出件数	件	実績	0	0	0	国費				方向2					
達成率	-	-	-	その他				方向3										
計画				県費	2	3	5											
指標種類3	指標名称3		単位	計画					人役	0.1	0.1	0.1	警察行政上、警察に深い関係の方々への慶弔を含んでおり、必要最小限の儀礼を行うためには本事業を継続する必要がある。					
実施期間	始期	終期	事業の概要						人件費	677	605	598						
S29	-	警察行政運営に必要な外部との交際に関する経費																
3	警察署協議会活動費			指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり
指標種類1	指標名称1		単位	計画	計画無	計画無	計画無		事業費計	5,081	5,081	5,068	5,086	評価	住民からの意見・要望の警察行政への反映件数については社会情勢等により変動するものであり評価することは困難である。警察署協議会開催回数は会則により定められており適切に開催された。			
成果		70-	住民の意見・要望の警察行政への反映件数	件	実績	35	44	42	国費									
達成率	-	-	-	その他														
計画	48	48	48	県費	5,081	5,081	5,068	5,086										
指標種類2	指標名称2		単位	計画	48	48	48		事業費計	3,820	4,065	3,992	見直し方向性	方向1	このまま継続			
活動	+	70-	警察署協議会開催回数	回	実績	47	48	48	国費				方向2					
達成率	97.92%	100.00%	100.00%	その他				方向3										
計画				県費	3,820	4,065	3,992											
指標種類3	指標名称3		単位	計画					人役	0.2	0.2	0.2	住民からの意見・要望の警察行政への反映件数については社会情勢等により変動するものであるが、意見・要望を受けた際には積極的に警察行政へと反映していき、警察署協議会の開催についても、定めに基づき引き続き適切に開催していく。					
実施期間	始期	終期	事業の概要						人件費	1,354	1,210	1,195						
H13	-	警察署の活動に対する意見・要望を聴取することにより、住民のニーズを的確に把握し、それに応える活動の展開が可能となる。住民の意見を警察行政に反映させ、住民と警察とが一体となって地域の課題を解決し、地域の安全が確保できる。																

4 音楽隊活動費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	2成果低迷している	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり								
指標種類1	指標名称1			単位	計画	84000	84000	82,000	/	予算	事業費計	14,662	15,682	15,829	15,211	評価	成果 動向	2成果低迷している	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
成果	+	70-	音楽隊行事の集客数(参加人員)	人	実績	5280	4240	17100			事業費計	国費									令和4年度については、派遣回数及び聴衆人員が増加している。新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に減少していることから、成果向上する見込みである。					
					達成率	6.29%	5.05%	20.85%				その他														
					計画	80	80	80					県費	14,662	15,682							15,829	15,211			
指標種類2	指標名称2			単位	計画	80	80	80			決算	事業費計	12,690	13,669	14,038							見直し 方向性	方向1	このまま継続		
活動	+	70-	年間参加行事回数	回	実績	13	23	52				国費												方向2		
					達成率	16.25%	28.75%	65.00%		その他																
					計画								県費	12,690	13,669	14,038	方向3									
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役		5.4	5.4	5.4	本事業による音楽隊の活動は、広報活動により県民の期待と信頼に応え、警察活動を県民に広く周知することを目的としている。今後も警察広報の一翼を担う存在として必要であるため、このまま継続する。											
実施 期間	S33	-	事業の概要	音楽隊の活動は、県民と警察の音の架け橋として、県民各層から高い評価を得ており、警察への支援、協力、犯罪防止等に成果を上げている。今後も県内一円における音楽隊による広報活動を推進し、警察活動への理解と協力を求めている必要がある。	実績			人件費		36,537		32,670	32,244													
											達成率			-		-		-								

5 電子計算組織運用費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり								
指標種類1	指標名称1			単位	計画	0	0	0	/	予算	事業費計	197,125	188,368	167,771	164,532	評価	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
成果	0	70-	不具合により運用できなかった件数	件	実績	0	0	0			事業費計	国費									令和4年度については、派遣回数及び聴衆人員が増加している。新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に減少していることから、成果向上する見込みである。					
					達成率	-	-	-				その他														
					計画	33	33	37					県費	197,125	188,368							167,771	164,532			
指標種類2	指標名称2			単位	計画	33	33	37			決算	事業費計	196,164	186,457	167,026							見直し 方向性	方向1	このまま継続		
活動	+	70-	運用中の業務システム数	件	実績	33	34	34				国費												方向2		
					達成率	100.00%	103.03%	91.89%		その他																
					計画								県費	196,164	186,457	167,026	方向3									
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役		4	4	2.9	県警の警察活動を支えるシステムであり、当面はこのまま継続していくが、災害等により現行機器が損壊した場合、業務継続が不能となることを避けるため、バックアップセンターの機能拡充を行う必要がある。											
実施 期間	S63	-	事業の概要	警察業務の複雑多様化、増大化に対応するため、基幹業務サーバ等を利用し、業務の電算化を行い、高度情報化社会に対応した効率的な警察運営を推進する。	実績		達成率	-		-		-														

6 警察規程情報電子化事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり								
指標種類1	指標名称1			単位	計画	75000	75000	75,000	/	予算	事業費計	1,822	1,822	1,822	1,822	評価	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
成果	+	70-	県警職員による規程管理システム活用状況	件	実績	49064	42926	42961			事業費計	国費									令和4年度については、派遣回数及び聴衆人員が増加している。新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に減少していることから、成果向上する見込みである。					
					達成率	65.42%	57.23%	57.28%				その他														
					計画	4500	4500	4500					県費	1,822	1,822							1,822	1,822			
指標種類2	指標名称2			単位	計画	4500	4500	4500			決算	事業費計	1,822	1,822	1,822							見直し 方向性	方向1	このまま継続		
成果	+	70-	県民による県警ホームページ上の規程管理システム利用状況	件	実績	3282	3206	3236				国費												方向2		
					達成率	72.93%	71.24%	71.91%		その他																
					計画								県費	1,822	1,822	1,822	方向3									
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役		0.1	0.1	0.1	本事業は、警察業務の透明性を確保するため、県警規程等を県警ホームページに掲載する事業であり、県民の知る権利に資するため、このまま継続する。											
実施 期間	H13	-	事業の概要	愛媛県警察規程を電子化して規程管理システムにより一元管理し、規程内容を検索するシステムを用いて文書審査、職務執行上の根拠規程の確認等の各種業務に有効活用しているほか、規程を県警ホームページに掲載し、県民の閲覧の用に供している。	実績		達成率	-		-		-														

7 給与電子計算処理費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	4その他				
指標種類1	指標名称1			単位	計画	0	0	0		予算	事業費計	238	230	230	210	評価	近年、給与支給不適正事案及びシステム障害発生件数ともに0件で推移しており、成果は横ばいで今後の成果向上の余地は認められない。					
成果	0	70-	給与支給不適正事務件数	件	実績	0	0	0	国費													
					達成率	-	-	-	その他		6	6	6	5								
指標種類2	指標名称2			単位	計画	0	0	0		決算	事業費計	232	221	221	見直し 方向性					方向1	このまま継続	
成果	0	70-	電子計算システム障害発生 件数	件	実績	0	0	0	国費											方向2		
					達成率	-	-	-	その他		6	6	6							方向3		
指標種類3	指標名称3			単位	計画					県費	232	224	224	205		本事業は、職員の給与支給電子計算に要する経費であり、給与事務処理上必要であるため、このまま継続する。						
					実績				人役		1.3	1.3	1.3									
					達成率	-	-	-	人件費	8,796	7,865	7,763										
実施 期間	始期	終期	事業の概要																			
	S52	-	「職員の給与に関する条例」等に基づく事務処理であり、各種給与事務の効率性、迅速性及び正確性を確保する。																			

8 遺失拾得物管理業務システム運用費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり				
指標種類1	指標名称1			単位	計画	14	15	15		予算	事業費計	5,223	6,152	6,152	6,152	評価	返還率については、過去3年間計画値の9割以上を達成しているが、未返還件数が多いことから、成果向上の余地が認められる。					
成果	+	70-	拾得物件の遺失者への返還率	%	実績	16	15	14	国費													
					達成率	114.29%	100.00%	93.33%	その他													
指標種類2	指標名称2			単位	計画	計画無	計画無	計画無		決算	事業費計	5,213	6,151	6,151	見直し 方向性					方向1	このまま継続	
活動		70-	拾得物件届出件数	件	実績	104034	105437	126934	国費											方向2		
					達成率	-	-	-	その他											方向3		
指標種類3	指標名称3			単位	計画	計画無	計画無	計画無		県費	5,213	6,151	6,151	拾得物件の提出数、遺失届の受理数は年々増加しており、遺失者への拾得物の早期返還に遺失物・拾得システムの正確な検索結果と情報集約は業務上不可欠となっていることから、このまま継続する。								
活動		70-	拾得物件の遺失者への返還件 数	件	実績	16232	16012	17553	人役		0.4	0.4	0.4									
					達成率	-	-	-	人件費	2,707	2,420	2,389										
実施 期間	始期	終期	事業の概要																			
	H19	-	都道府県遺失物管理システムの運用管理を行うことで、警察庁システムとの連携、遺失拾得物に関する情報集約、全国的な通報、インターネット公表及びリアルタイムの照会・照合等を実現し、遺失者等の早期発見及び拾得物の早期返還を図る。																			

9 庁用事務費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	4その他				
指標種類1	指標名称1			単位	計画	0	0	0		予算	事業費計	46,394	47,773	51,735	48,963	評価	当年度を含む過去3年間において、警察活動に支障を来した件数は0であり、成果向上の余地は認められない。					
成果	0	70-	警察活動に支障を来した件数	件	実績	0	0	0	国費													
					達成率	-	-	-	その他		25,798	28,362	29,493	30,608								
指標種類2	指標名称2			単位	計画	36000	36000	36000		決算	事業費計	36,071	37,444	44,643	見直し 方向性					方向1	このまま継続	
活動	+	70-	消耗品等の配分数	点	実績	27272	27638	27904	国費											方向2		
					達成率	75.76%	76.77%	77.51%	その他		29,499	31,886	35,720							方向3		
指標種類3	指標名称3			単位	計画					県費	6,572	5,558	8,923	本事業は、警察行政の円滑な推進を図るために必要であることから、このまま継続する。								
					実績				人役		7.7	9.6	10.2									
					達成率	-	-	-	人件費	52,099	58,080	60,905										
実施 期間	始期	終期	事業の概要																			
	S29	-	警察行政の円滑な推進を図るため、職員の知識・技能を向上させるとともに、警察運営に支障を来さない勤務環境を整備する。																			

10 赴任旅費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	4その他						
指標種類1	指標名称1			単位	計画	100	100	100		予算	事業費計	77,801	77,734	123,100	40,098	評価	条例に基づく旅費の支出であり、コスト改善の余地は認められない。また、当年度を含む過去3年間に於いて、異動に支障を来した件数は0であり、成果向上の余地は認められない。							
成果	+	70-	赴任旅費の支給率	%	実績	100	100	100			国費									見直し 方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3			
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%			その他													
					計画	0	0	0			県費	77,801	77,734	123,100	40,098									
指標種類2	指標名称2			単位	計画	0	0	0			決算	事業費計	67,951	69,989	108,396									本事業は、異動時期における警察行政の円滑な遂行を補助するために必要であることから、このまま継続する。
成果	0	70-	異動に支障を来した件数	件	実績	0	0	0				国費												
					達成率	-	-	-		その他														
					計画					県費	67,951	69,989	108,396											
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役	0.4	0.4	0.5											
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人件費	2,707	2,420	2,986											
	S29	-	異動時期における警察行政の円滑な遂行を補助する。																					

11 災害協力援助者給付金				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	4その他						
指標種類1	指標名称1			単位	計画	1578	1596	1,596		予算	事業費計	1,578	1,596	1,596	1,596	評価	近年は法律に定められた金額を計画どおり支給しており、これ以上の成果向上の余地は認められない。							
成果	+	70-	給付金額	千円	実績	1578	1596	1596			国費									見直し 方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3			
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%			その他													
					計画	1	1	1			県費	1,578	1,596	1,596	1,596									
指標種類2	指標名称2			単位	計画	1	1	1			決算	事業費計	1,578	1,596	1,596									被災者数の増減は事前に予測できるものではなく、給付対象者に療養給付、遺族給付を実施するものであるため、このまま継続する。
活動	+	70-	給付対象者の人数	人	実績	1	1	1				国費												
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%		その他														
					計画					県費	1,578	1,596	1,596											
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役	0.1	0.1	0.1											
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人件費	677	605	598											
	S55	-	警察官の行うべき職務に協力、援助する際、又は人命救助に当り災害を受けた者若しくはその遺族(給付対象者)に対する療養給付、遺族給付を実施する。																					